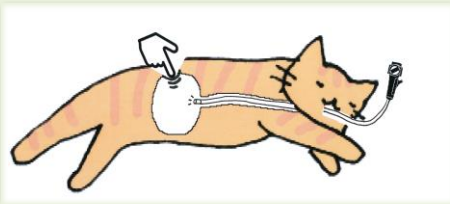
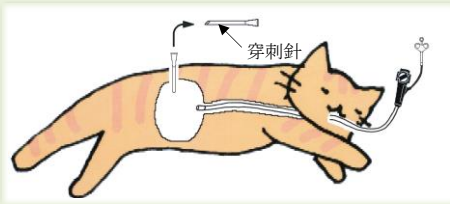


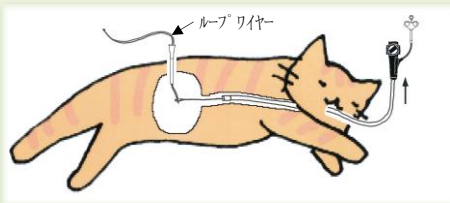
## ティアレ PEG キットの使用方法について(当社推奨)



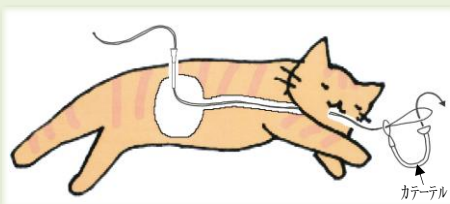
- ・内視鏡を定められた操作方法に従って胃内に挿入する。
- ・送気により胃を十分に膨らませ、腹壁を照射した透過光が最も強い部分の皮膚を圧迫し、胃内腔の隆起を内視鏡で確認することで、適切な胃瘻造設部位を決定する。



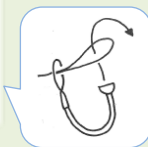
- ・選定した刺入部位周辺を剃毛、消毒し滅菌ドレップで覆う。
- ・内視鏡のチャンネルを通じてスネアを挿入し、胃内で待機する。
- ・小切開ヌで、適切な位置を皮膚切開する。(少なくとも1cm切開)
- ・皮膚切開部位から内針付イントロデューサーカニューラを刺入し、胃内への到達を内視鏡で確認した後、穿刺針を抜去する。



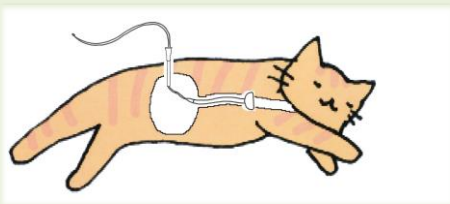
- ・穿刺カニューラからループワイヤーのループ部分を胃内に挿入し、スネアでループワイヤーをしっかり把持したまま、内視鏡と共に口腔外に引き出す。



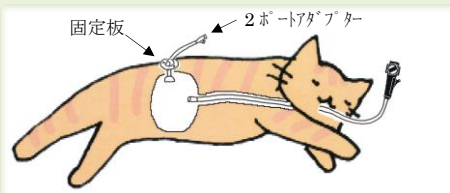
- ・ループワイヤーを十分に引き出したらスネアを外し、カテーテルの先端ワイヤーとループワイヤーを連結する。



(重要：右図のように、引き出したループワイヤーをカテーテル先端ワイヤーのループ内に通し連結して下さい)



- ・カテーテルに潤滑剤を塗布した後、切開部位から出ているループワイヤーを把持し、ゆっくりと引っ張ることでカテーテルを口腔内に引き入れ、切開部位を通り、穿刺カニューラとともに体外に引き出す。



- ・カテーテルのバンパーが胃前壁に軽く接触したら、内視鏡を再び挿入し、正しく留置していることを確認する。
- ・固定板をカテーテルの先端から通し、切開部位で固定する。
- ・栄養補給に適した長さを残し、カテーテルを垂直に切断する。
- ・切り口に2ポートアダプターを取り付ける。

### 【抜去方法について】

- ・固定板を取り外し、腹部からスライドする。内視鏡を定められた操作方法に従って胃内に挿入する。
- ・送気してバンパーを把持出来るか確認する。瘻孔に潤滑剤を塗布し、カテーテルをゆっくり回し胃内に1~2cmほど押し込む。
- ・スネアを挿入しバンパーを把持する。体表上の皮膚に近い場所でカテーテルを切り離し、内視鏡と共に口腔外へ引き出す。